

# 新座 IoT の学び推進協議会

埼玉県新座市



新座ICTくらぶ

資料4-3

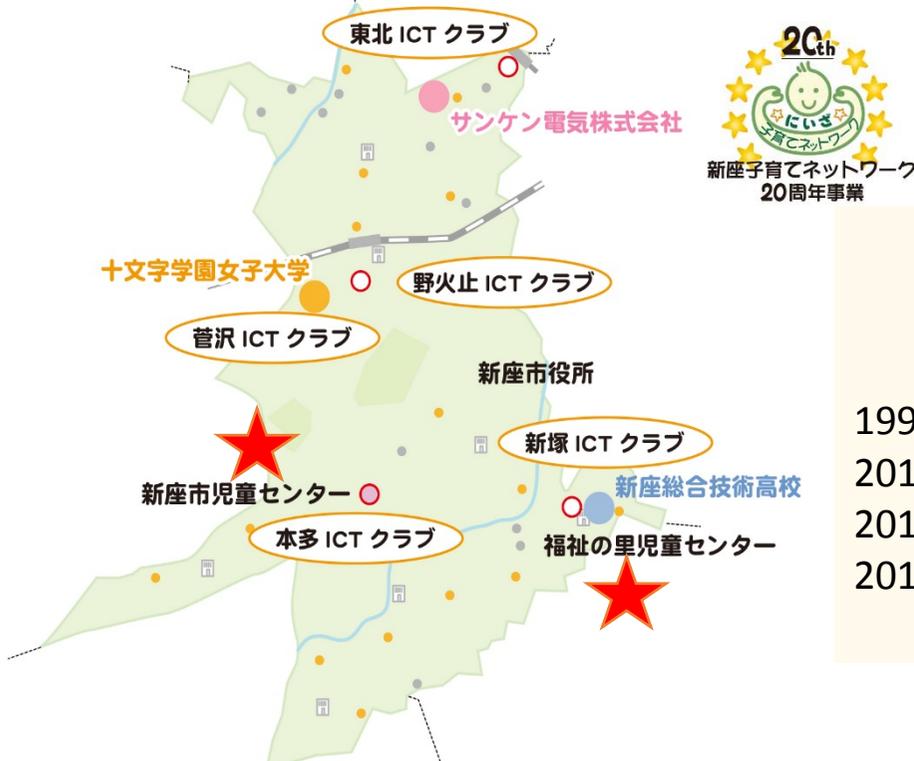
代表団体：NPO法人新座子育てネットワーク

1



クラブ：5カ所 9講座  
参加児童 111名

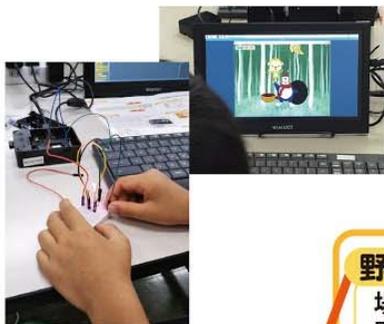
メンター養成：7講座  
受講者 162名  
活動実績 33名



## 推進力の背景

20年間の新座市での活動実績  
教育委員会・行政・協議会団体との連携力  
プログラム・カリキュラム・教材開発力  
2014年からの先駆けたプログラミング活動

1999年～公民館等を活用し地域子育て支援開始  
2010年～市内児童センターを指定管理運営  
2014年 PEG（子どものためのプログラミング）参加  
2016年 児童館等における「遊びのプログラム開発」にて  
プログラミングによる遊びのプログラムを開発



Play with Programming  
プログラミング  
ネイティブ  
で、行こう!!  
Niiza ICT Club

新座 ICT くらぶ

協議会

十文字学園女子大学

新座市教育委員会

サンケン電気

新座総合技術高等学校

新座市児童センター

福祉の里児童センター

### 野火止 ICTくらぶ

場所：野火止公民館  
開催日：9/30(日)午前・10/6(土)午前・午後  
参加者数：13人(述べ37人)

### 本多 ICTくらぶ

場所：新座市児童センター  
開催日：①10/7(日)・14(日)・21(日)午前  
②11/4(日)・18(日)・25(日)午前  
③12/1(土)・8(土)・15(土)午前  
参加者数：計32人(延べ80人)

### 新塚 ICTくらぶ

場所：福祉の里児童センター  
開催日：①11/10(土)・17(土)・24(土)午前  
②12/9(日)・16(日)・22(土)午前  
③1/12(土)・20(日)・27(日)午前  
参加者数：計35人(延べ47人)

### 菅沢 ICTくらぶ

場所：十文字学園女子大学  
開催日：11/25(日)・12/2(日)・9(日)午前  
参加者数：20人(述べ60人)

### 東北 ICTくらぶ

場所：にいざほっとぷらざ  
開催日：1/5(日)・6(日)・7(日)午前  
参加者数：12人(述べ32人)

### メンター養成

●野火止公民館  
開催日：9/23(日)  
参加者数：13人



●十文字学園女子大学  
開催日：9/26(水)・10/3(水)  
参加者数：39人  
開催日：9/30(日)  
参加者数：14人



●福祉の里児童センター  
開催日：10/7(日)  
参加者数：14人

●にいざほっとぷらざ  
開催日：11/7(水)  
参加者数：11人



●サンケン電気  
場所：にいざほっとぷらざ  
開催日：11/28(水)  
参加者数：11人

●新座総合技術高等学校  
開催日：12/18(火)  
参加者数：36人

●新座市教育委員会  
場所：福祉の里児童センター  
開催日：1/18(金)  
参加者数：26人

### インクルーシブ研修

場所：十文字学園女子大学  
開催日：12/2(日)  
参加者数：20人



CANVAS の  
協力

電子工作

ドローン飛行



作品発表・交流  
プログラミング体験  
場所：新座市民会館  
2月3日



参加人数106人

2019参加



## 児童センターの活動としての 地域ICTクラブ

- 子どもにとって児童センターは、  
学校でも、家庭でもない、地域の居場所
- すべての子どもに開かれた施設
- 遊びを通じた児童健全育成がコンセプト
- 児童厚生員の存在
- 保護者にとって安心安全な子どもの遊び場
- 学校と地域の関係機関と連携
- 自由に使えるPC
- 無償
- 会場コストがかからない
- ボランティアの存在



2つの  
児童センター



新座市児童センター  
プラネタリウム

科学的要素

福祉の里児童センター  
総合福祉施設に位置

包括的要素



の  
特徴



創造的思考の重視  
Project, Passion, Peer,  
Play

## 今後の計画と課題

- ▶ 講座内容の発展
  - ▶ 今年度の連続3回を入門編とし自由活動日を追加
- ▶ クラブ開催時期の変更
  - ▶ 長期休暇の4回連日開催
- ▶ 児童センターでのクラブの定着を図る
  - ▶ サポート体制の構築
- ▶ メンターのチーム化と主体的な活動への誘導
- ▶ IoT体験へ発展する機材の追加調達
  - ▶ ノートPC iPad ドローン MakeyMakey
- ▶ 協議会体制の継続
- ▶ 運営コスト調達の方策の検討
  - ▶ 無料会場の確保
  - ▶ ボランティア活動としてのメンター意識の醸成
  - ▶ 費用徴収、助成金検討など

そのほか 新年度に向けて  
2019年4月9日 地元報告会  
2019年度 ScratchDayに参加

## 0 地域ICTクラブの目的・役割

### クラブのコンセプトとして掲げた項目

- 学校とは違う、子どもの居場所
- プログラミングを楽しむ、仲間がいる
- 指導役や監視役じゃない、  
活動仲間としてのメンターがいる
- 子どもの主体性が尊重される
- 多様な個性が尊重されるインクルーシブな環境
- 未来につながるICTと出会うワクワクする場所

## 1 地域ICTクラブの立上げ

立上げに必要な要素（ヒト、モノ、場所等）

ICTに関心があり、学習意欲のあるスタッフ（事業管理・講座運営・渉外）

機材、教材、会場、事業費

円滑な立上げのポイント

現実的な事業計画、スケジュール、広報計画

技術アドバイザー

ネットワーク・連携・コーディネート・ネゴシエーション

## 2 メンターの確保・育成

メンターに求められる素質・経験等

一般的なPCとインターネットの使用スキルと学習意欲

子どものICT活動や教育に関心のあること

地域住民(大人に限定されない)であること

子どもといっしょに遊べること

子どもの主体性が尊重できること

ボランティア精神を共有できること

メンターの確保、育成のポイント

確保: 広く、継続的な募集、学校との連携

育成: コンセプトの共有

指導者ではないメンターとしてのポジションの理解

わかりやすい教材提供、クラブと同じ機材・環境での学習

自宅学習のすすめ

安心させる声掛けと感謝のシャワー

## 3 講座の設計～運営

学びの効果を高める講座設計や教材開発・確保のポイント

基本操作を一斉に学んだ後は、各自のペースで活動できるような講座設計

児童用テキストはシンプルでよい、操作しながら理解していく、子どもは読まない

個別フォローするメンターを手厚く配置

機器の消耗が激しいのは覚悟しておく

学びの効果を高める講座運営のポイント

子どもの良い点を見つけてメンターがエンパワメントする

オリジナリティと自主性を最大限に尊重する

作品を見せ合ったり体験し合ったりする時間を大切にする

交流しながら高まる意欲を、創造力や持続力、思考力へと昇華させていく

## 4 地域ICTクラブの継続可能な運営のあり方

自立的な継続活動を実現する運営体制等

今後の課題です。